

# 第67回（平成26年度第2回）番組審議会議事録

開催日時：平成26年7月22日（火）午前10時00分～11時55分  
会 場：西宮市職員会館 第1中会議室

1. 出席者の状況  
委員総数：7名  
出席委員：6名

放送事業者側出席者	代表取締役社長：1名
	統括部長：1名
	統括主事：1名
	西宮市広報課：1名
	顧問：1名

## 2. 議事に入るまでの経過

事務局より、前期委員が任期満了で交代となり現在委員長が不在のため、委員長が決まるまでの間事務局で対応させていただく旨を説明。

社長より、皆様から新たに多くのご意見を賜り、より発展する方向へお力添え頂きたい旨を述べ、より多くの角度からの審議をお願いした。

続いて、事務局より委嘱状の交付をお名前の五十音順に行う旨を伝え、平成26年6月1日付の委嘱状を社長より各委員に交付した。

続いて、委員の自己紹介があり、その後社長より会社側出席者及び市広報課と顧問の紹介と挨拶があった。

ここで事務局より本日の委員の出席状況として、委員総数7名中6名が出席しており、過半数以上の出席により審議会は有効に成立している旨の報告があった。

## 3. 議題

### （1）委員長選定について

事務局より、只今より議事に入るが、初めの議題として今期新委員長の選出を行うにあたって如何取り計らえばよろしいか委員に意見を伺った。

委員より事務局に一任する旨の声があり、これを受けた事務局より委員にお願いしたいと

提起があった。

委員より「異議なし」の声があり異議を認めず、満場一致で委員に委員長をお願いすることに決定した。

事務局は委員に委員長席に着くよう要請した後、従来通り委員長が議長となって議事進行をして頂くよう要請し、委員長に議事を託した。

委員長より、「ご指名を受け、委員長を務めさせていただくのでよろしくお願ひします」と挨拶があった。

## (2) 番組の審議

議長

「では議事次第に従って議題を進めていきたい。議題の2番、番組紹介に移りたい。本日は「まちたびラヂヲ」が上がっているが、この説明とテープによる紹介となっているので、質疑は説明・紹介後に一括でお願いします」と議題を上程し、事務局に説明を求めた。

〔統括部長による番組内容の説明〕

統括部長

本日聞いて頂く「まちたびラヂヲ」は、毎週日曜日午前9時から11時まで、2時間の生放送で、放送を開始したのは今年の4月から。パーソナリティーのささきみほさんが一人で担当している。今回の放送はゲストが一人来られている。「街なかホットレポート」のコーナーは毎週必ず市内のイベント会場の現場へレポーターが足を運び、電話中継をつないでいる。

実際は2時間の番組なので、ニュースや天気情報・交通情報・曲などは割愛して編集し短くしている。

〔i-podによる番組紹介〕(平成26年7月13日 日曜日放送分)

〔番組に関する意見交換〕

議長

番組を聞いて頂いたが、これについて質疑応答に入る事にする。お感じになった事を忌憚のないご意見のご発言をお願いしたい。

委員

これは毎週の番組か。

統括部長

毎週です。

社長

タイムテーブルをご覧頂きたい。日曜日の上方 9 時の欄に「まちたびラヂヲ」がさきさんの写真付きで載っているのご確認を。

委員

初めて聞いたが、パーソナリティーのさきさんははっきりした口調で分かりやすい。ゲストの竹内さんとの話はとても聞きやすく、話題も「そういうことをやっているのだな」と興味が持てる内容でよかった。

樋之池プールの紹介には難しさがあると思った。屋外インタビューの形式の現場中継で、インタビュアーは地域レポーターということだが、受ける側の声の拾い方が難しいと思った。スタジオでの二人のトークは明瞭で、樋之池プールの地域レポーターのインタビューは、雨というハンデもあっただろうが、聞き取りづらかった。

統括部長

この日はプールに落ちる雨の音が響き、レポーターは大きい声で喋らなくてはならないがインタビューを受ける地域の方々は普通の声で喋る。声をなるべく拾うようインタビュアーにはマイクの使い方を指導しているが、この日は双方の差が出過ぎたと思う。またこの日は緊急告知ラジオから音を出しながら屋根の下でインタビューをしたが、音量を上げるとハウリングが起こってしまう。いろいろ反省点があった。

委員

番組構成はパーソナリティーが一人ですか。

部長

ホットレポートに関してはスタッフ側でスケジュール調整をする。

この番組にさきさんを起用したのは、仕事の関係で全国あちこちに出掛ける事が多く旅の話が出来、トークもしっかりしているからという事だった。

今回のゲストの竹内さんに関しては私がブッキングしたのだが、ゲストは最近増えてはいるものの普段はゲストがいない時の方が多い。

議長

ゲストがいない時はさきさんがずっと一人でずっと喋っているのか。

部長

そうです。そういうこともあって、レジュメで紹介したテーマ的なコーナーを設けている。特別な事がない時でも甲子園の話や今津線の話などを取り上げて注目している事をアピールしている。聞いて頂いたものでは割愛したニュースや天気情報・交通情報や、西宮のイベント情報なども紹介している。また、「おおたび・こたび」のコーナーもあって、さきさん自身の旅に関する話をしている。

社長

さくら FM では各パーソナリティーの個性を生かして打ち出している番組が多い。この番組もささきさんが自分でネタを考えて準備している部分が多い。ホットレポートはスポンサーである市の広報課の意見も取り入れながら準備を進めている。

個性を生かした番組となるとどうしても実力の差が出るのだが、ささきさんの場合は実力もあり安心して聞けると思う。

議長

13日に実際聞いたが、パーソナリティーの方の声がとても感じがいいという印象を受けた。初めて聞いたが、西宮の紹介がいろいろあっていい番組だと思った。ただ、今津線のコーナーはちょっと無理があるように思った。面白いとは思うが。

委員

何故今津線の南線（西宮北口から今津までの3駅）にこだわっているのか。

部長

ささきさんはほぼ毎週1回は南線に乗っている。周りのビール工場がなくなって風景も変わってきたその南線に何かあるのではとこだわっているようだ。今回は特にエピソードはなかったと言っているが、以前に挙げたエピソードに、西宮北口駅から乗ってきた高校生が参考書を広げて勉強を始めたが今津に着くまでの3分間に寝てしまっていたというものがあつた。

議長

アサヒビール工場の跡地がこの先どうなっていくのかを取り上げてもらうのもいいかもしれない。

統括部長

番組が始まる時にはアサヒビールの撤退は決まっていて、解体が始まって見るたびになくなってゆく光景があり、その後そこに何かが出来るということで、毎週何か喋ってみようということになった。

委員

車窓にこだわると限定される。あの辺りの地域を取り上げるなら電車を降りて歩いてみるのもいいだろう。

統括部長

南線だけでなく、阪急電鉄の催しがあつたり鉄道に関して何かあつたら、取り上げの入口としてこういう振りをしている。

委員

車窓から見る西宮となると広がりすぎるか。

統括部長

西宮に限らず鉄道に関する事などリスナーからの話題提供がある。

委員

旅中心なので北部・南部を歩きながら取材して、こういう知らないところがあった、こういう歴史物語があったなどの話題があってもいいと思う。

私も樋之池プールのような大きな施設があるのは初めて知った。街たびなのでどこからどうやって行ったらいいという紹介があってもいいのでは。西宮はスイーツの街なので、ここには美味しいものがあるよとか、珍しいものがあるよという紹介もいいと思う。

私は北部に住んでいるので、南部の事に関しては疎い。広く歩いて取材していろいろなところを紹介してもらえるといい。

委員

西宮は北から南まで広い。

議長

知らない事がいっぱいある。

委員

南部に住んでいる人は北部の事に疎い。だから広くいろいろ紹介するといいと思う。

委員

日曜日の午前中の番組で2時間だが、聞きやすく疲れない。反面内容が散漫な部分もあるような印象を受ける。だから気軽に聞けるのだろうが、掘り下げが浅いような気がする。

「街なかホットレポート」のコーナーは西宮市の提供だが、番組タイトルが「まちたび」とあるので、観光協会が主催されている「まちたび」事業に付した内容を放送していけば相乗で事業の効果が上がってくるのではないか。観光に関してはその点を考慮して頂きたい。

統括部長

2013年4月に番組が始まる時にちょうど1回目のまちたび博が終了したので、この名前を頂戴したといういきさつがある。

まちたび博が始まるとささきさんもいろいろまわって取材するし、みやたんの話は毎週しようということにもなっている。

委員

まちたび博のなかでいろいろな店などが紹介されると思うが、番組と連携させれば事業の効果が上がるのではないか。

委員

広報課の方から何か注文をつけることはあるか。

広報課

「街なかホットレポート」を何故市の提供にしているかと言えば、さくらFMはリスナーが少ないので、外へ出て存在をアピールして行かなければならないという事だった。市の提供を付けて市内のイベントに足を運び「さくらFMが来ていますよ」とアピール

し地域の声を拾う必要があった。その日のイベントを紹介して地域の人に足を運んでもらうよう、今からでも間に合うから来てねと PR し、聞いた人にはお得な情報ももらったと思ってもらえるようになるといい。このような二つのスタンスでやっているの、スイーツの情報などは自主的に他の形でやってもらえるといい。

議長

去年の野外文化事業の時に日曜日の午前中にインタビューに来られたが、思えばこの番組だったのですね。

委員

西宮の街のブランド力を出すのが弱いように思う。いろいろな魅力があるが、そのイメージが伝わりにくい。単発でやっているイベントの詳細な情報にプラスしてこんな街に住んでいてよかったと思えるような街のブランドイメージをラジオから発信したら、それを聞きたいと思うようになるのではないかと。アピール力が足りない。そこで話されている事が豊かに想像させるものがほしい。

私は日曜日にこの番組を聞いているが、「街なかホットレポート」のコーナーが一番ひやひやすする。そういう意味で一番心に残る。レポーターが頑張っていると感じるし市民の方は一生懸命答えていて街の感じが伝わるのでいいと思うが、メッセージの内容が聞き取りにくい。レポーターは大事なところを繰り返してあげるとか、それを更にささきさんがスタジオで取りまとめるなどしてはどうか。

統括部長

お聞きの通りレポーターとささきさんの実力がかなり違う。以前必要情報を言わないままレポートを終了してしまい、ささきさんがスタジオでフォローした事があった。その方が音声的には聞きやすいが、それではレポートに出ている意味がない。

また、市内を訪ねるので、どんなに有名な施設でも何町にあるのか最初に必ず言うように指導している。

委員

パーソナリティーはプロだから専門家として割り切れればいいのだが、レポーターやインタビューを受ける側は勉強だと思う。いろいろな事を知ったり学んだりする機会だと思う。その機会は広がる方がいい。レポーターもたくさんいる方がいいし、インタビューを受ける方もたくさんの方がいい。その中からたくさん話題が出てくるといった方向に持っていった方がいい。パーソナリティーにおんぶしてばかりだとその人だけの番組になってしまう危険性があると思う。レポートの幅を広げて後からパーソナリティーがカバーリングしてもらいたい。我々市民もインタビューを受ける方としていろいろ学んでいかななくてはならない。FM が来てインタビューを受けるとなると、どんな話し方をしようかどんな話題をもっていこうかと勉強させられる。そういう機会を地域放送としてたくさん作った方がいいのではないかと。パーソナリティーに任せっきりだとパーソナリティーが成長していくだけ。地域放送の在り方として、失敗してもいい間違ってもいい

いからもっと参画する人を増やした方がいいと思う。きれいな放送だけを求めなくてもいい。聞きやすいばかりがいい訳ではない。

議長

インタビューされる側としては、生で放送すると言われて上がってしまい声も小さくなった。インタビューのちょっと前に時間の余裕をもってリラックス出来るようにインタビュアーの方が考えてくれると、もうちょっとはつきりものが言えるようになるのでは。さっとマイクを出されたらどうしても緊張してしまう。

委員

この番組の聴取率はどのくらいか。分母はどのくらいか。メールや FAX でメッセージをもらっていると思うが、どんな層が聞いているか分かるか。

広報課

全体の聴取率は 7%で周知率は 50%くらい。分母は 3,000 くらい。アットランダムに郵送で送り回答を得た数です。

統括部長

番組ごとの聴取率は出てこないの分からない。全体的には 40 代の女性が多い。

委員

どんな人がよく聞いているかを捉えてその層向けの内容にしぼったらどうか。また、「今津線の車窓から」のコーナーがあるが、電車でないとだめなのか。バスなどはどうか。

統括部長

いいと思う。このコーナーは有川浩さんの小説を流用してとっかかりにしているだけなので。

委員

テレビでバスに乗って途中下車して取材をする番組を見た。西宮市は広いのでバスの途中下車なら全市を網羅できるくらいのボリュームがあるのではないか。大変だとは思いますが。

統括部長

バスの途中下車という訳ではないが、月曜日の番組で毎週カードを引いて当たった町をレポートし、次の週で紹介する「おっさんぼ」というコーナーがある。

委員

いろいろな人に参画してもらおうよう、営業に回る先々で店先で 78.7MHz に合わせてさくら FM を流して下さいと頼むのはどうか。そうすれば聴取率も上がるのでは。

顧問

パーソナリティーは声の音質はいいが、一本調子なので勿体ない。内容によってトーンを変えろという事が出来るようになるとさくら FM でピカイチのパーソナリティーになるのではないか。電話番号などの数字を言っても末尾が消えたりしない。いい素材だ

と思う。

甲子園の話は少し浅いように思った。以前甲子園球場がどこにあるかとアンケートを取って聞いてみても兵庫県西宮市だと答えた人が少なかった。それで当時の市長が甲子園球場の駅を降りたところに「ようこそ西宮市へ」というアーケードを作ったことがあった。甲子園球場へは来るのだが西宮市にきているとは分かっていない。西宮市の観光動員数で多いのはえべっさんか甲子園球場だが、周りにお金を落とさしてくれない。西宮市には大型観光バスが停まれる設備がないので、球場の場合はバスで遠方から来た応援団は時間がくるまでバスの中で待機しているので周りにお金を落とさない。西宮市として問題はある。甲子園が西宮だとも認識してもらっていないので、参加チームにプレゼントをしたりして、ようこそ西宮市にいらっしゃいましたという看板を出したりいろいろやるようになっている。人文字などもそうだ。もっと西宮市をアピールするのに甲子園球場を話題に取り上げてみてもいい。問題点もあれば話題もある。これを機会に甲子園球場をテーマにして深く掘り下げていったらいいのではないか。パーソナリティーが準備したものを局の方でチェックして、もっと深く掘り下げるようにしないといけない。イントロで蔦の話が出ていたが、以前冬に蔦が枯れたと大騒ぎをして新人記者がわざわざ記事にしたことがあった。蔦は冬には枯れるという事を知らないとそういうことになる。だから甲子園一つをとっても、あれは阪神タイガースのものではなく西宮市民のものだという意識を持つこと、アピールする事が必要。

インタビューというのは非常に難しい。元々は医学用語で「問診」という意味があり、相手の心を開くというもの。インタビューに行く前に相手を丸裸にするくらいのつもりでよく調べてから行けと言われていた。聞かなくていい事は聞くな、局側で喋っている事は喋り、その人でないと喋れない事を喋らせるのがインタビューでは一番大事。相手にしか言えない事をいかに引き出すか、それには事前に打ち合わせをしてこういう事を聞きますよとリラックスさせて心を開くようになるまで余裕をもって生に入るのが大事。インタビュアーは呼んだゲストからフルに引き出すというような訓練をしてほしい。

それから出来れば次週どこへ行くという予告をしておくといい。放送を聞いてこれから行こうというだけでなく、前の週に聞いて当日現場で待ってましたとまでいけば大成功だ。また、幟を持って同じユニフォームで事前にPRするという宣伝をすると効果を上げる。

### (3) 番組審議会及び定款変更についての説明

#### 統括部長

予め放送法令抜粋と番組審議会規定をお配りしている。放送法に基づき弊社は番組を制作している。また、番組審議会の規定に基づきこれから審議会を運営していく事になるので一通りお目通し願いたい。委員は7名で構成しており、任期は2年。2期までの



再任は妨げないという事になっている。毎月1回開催とあるが、総務省の指導で年6回以上は必ず開催するよう言われているので、そのように開催予定は組んである。分からない点などあったらお尋ね頂きたい。

放送法の抜粋にもお目通し頂きたい。

また、皆様にお配りした名簿のご自分の欄をご確認頂き、間違いや変更したい部分があれば訂正の上、後程ご提出頂きたい。完成したものは次回の審議会の際にお配りする予定。

主事

番組審議会の開催予定日は平成26年度行事予定表をご覧ください。奇数月の20日を予定しておりますが、その日が土曜日・日曜日・祝日の場合はその翌平日に行います。これに合わせてなるべくご出席頂きたい。

開催後については議事録を作成して一度委員の皆様にご確認頂き、訂正・変更の後、ご署名・押印を頂きます。総務省への提出期限は開催日の翌月末。

#### (4) その他の意見交換

議長

折角の機会なので今日の番組へのご意見だけでなく他の番組へのご意見、さくらFMへの要望などがあれば仰って頂きたい。

委員

10月からのタイムテーブルはどうか。

社長

後期のタイムテーブルは今から作成するので、ご意見等ありましたらお寄せ頂きたい。

委員

パソコンでも聞けるのか。

統括部長

聞けます。ラジコでは聞けないが、サイマルラジオで聞ける。

委員

スマートフォンでも聞けるか。

主事

本日お配りしたものの中に「さくらFMを聴く3つの方法」というチラシに聴き方の説明が載っています。

委員

緊急告知ラジオは買いました。

社長

ありがとうございます。

委員

緊急告知訓練放送は17日でしたね。

社長

そうです。いざという時は最大音量で鳴るが、普段の試験放送は普通の音量にしている。

議長は委員にその他特にご意見がない旨を確認し、本日の審議会を終了し閉会する旨を述べ、社長に挨拶を要請した。

社長は審議会でご意見を頂いた事への謝意を述べ、閉会にあたって挨拶を行った。

事務局は次回の審議会は平成26年9月22日の午前10時00分にと決定し、会場と審議番組は後日改めて連絡致す旨を伝えた。

議長は、午前11時50分に審議会閉会を宣した。

議事の経過を明確にするため、議事録を作成し、委員長及び出席委員の記名押印をする。

平成26年7月22日

西宮コミュニティ放送株式会社